3 施設関連

3 施設

提言 3-1 石川台地区へのキッチンカーの誘致、キッチンカーの料理の低価格化

学生の意見

- キッチンカーに関する要望として次の意見が寄せられました。
  - 価格が高い。(同様意見 137 件)
  - キッチンカーの料理の種類を増やしてほしい。(同様意見 18 件)
  - キッチンカーの出店が曜日固定でマンネリ化している。(同様意見 4 件)
  - 本館前以外へのキッチンカーの配置。(同様意見 14 件)

現状分析

現在、キッチンカーは大岡山地区本館前に平日に 2 店舗出店しています。月曜日から金曜日まで合計 10 店舗の平均最低価格は 650 円となっており、「キッチンカーの料理の価格が高い」という意見が多く寄せられました。また、出店店舗は曜日で固定されており、授業などで通学する曜日が決まっている学生は毎週同じキッチンカーが出店しているという状況になっているため、「マンネリ化している」「種類を増やしてほしい」という意見があげられました。

現在、大学内での昼食を買うことができる場所は、第二食堂、生協 BENTO、生協の売店、コンビニエンスストア、キッチンカーの 5 種類です。第二食堂、生協の売店、キッチンカーはいずれも本館近くにあります。緑ヶ丘地区や石川台地区で昼食を買うことができるキャンパス内での選択肢としては生協 BENTO のみです。また、2023 年度の秋学期ごろに新たな食堂が大岡山西地区にできることになっていますが、特に石川台地区からは遠く、依然として昼食の選択肢は少ないままの状況が続くと思われます。

これらの現状を踏まえ、学生支援課生活支援グループ、安全企画課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. キッチンカーの出店数を増やすことは可能でしょうか。

A1. 1 店舗あたりの売上が減ることは問題となりますが、採算が取れるのであれば可能です。

Q2. 現在、行っている石川台地区、緑ヶ丘地区の学食 BENTO の販売の需要はどれほどあるでしょうか。
A2. コロナ前から減少傾向です。石川台、緑ヶ丘地区で 1 日 10 個～15 個程度の売り上げです。

Q3. 石川台地区、緑ヶ丘地区へキッチンカーを出店した場合、採算が取れる見込みはあるのでしょうか。
A3. 2022 年 7 月 4 日から 1 ヶ月、石川台地区へトライアル出店した際には採算が取れませんでした。そのため、緑ヶ丘地区でも同様の結果になると思われます。

Q4. キッチンカーを出店する場所の条件などはあるのでしょうか。
A4. 明確な規定等はありませんが、出店したい場所の管理者などと相談する必要があります。

Q5. 低価格の料理を販売するキッチンカーなど、出店するキッチンカーの希望を伝えることは可能でしょうか。
A5. 業者に希望を伝えることは可能です。一つの業者が複数の店舗を管理している形態なので、希望の店舗をその業者が管理しているかなども関係します。「価格を下げたら利用者が増えるのでは」などの要望を伝えることは可能ですが、実際に出店していただけるかはわからないです。また、既に定期的にキッチンカーの種類の変更を行っています。曜日についての要望を出すことは可能ですが、管理業者とキッチンカーオーナーとの兼ね合いになります。

提言

以上を踏まえて、次のように提言いたします。

1. 石川台地区、大岡山南地区をターゲットにした石川台地区へのキッチンカー出店の再トライアルの実施。

2022 年 7 月にトライアルを実施した時点では対面授業も増えてきていましたが、まだオンライン授業の割合も高かったため、出校制限のない現在のキャンパスの状況とは違います。そのため、キッチンカーのトライアル出店についての周知を徹底した上でもう一度トライアルを実施し、採算が取れるかどうかの検証を行うべきだと考えます。

2. 学生のニーズに合わせた低価格の料理を販売するキッチンカー出店のためのアンケートを実施する。

価格が高いという意見が学生から多く寄せられている一方で、原材料高騰などの社会情勢上、キッチンカーの経営も難しいように思います。そのため、一度キッチンカーに関するアンケート調査を行い、キッチンカーに対する学生からのニーズなどを確認することにより、キャンパス内でのキッチンカーの立ち位置を改めて明確にすることが必要だと考えます。

提言 3-2 Taki Plaza の席数の拡充

学生の意見

- Taki Plaza に関する要望として次の意見が寄せられました。
  ・机、椅子を増やしてほしい。(同様意見 36 件)
  ・1 人席を増やしてほしい。(同様意見 4 件)

現状分析

Taki Plaza の現在の座席の構成は以下のようになっています。

・地下 2 階:4 人席(図 3-2.1)、移動可能なデスク(図 3-2.2)、壁際に長椅子

・地下 1 階:ソファ、4 人席(図 3-2.3)

・1 階:ソファ(図 3-2.4)

・2 階:畳(図 3-2.5)、カウンター(図 3-2.6)、大机、ソファ(図 3-2.7)

図 3-2.1 地下 2 階の 4 人席 [1]

図 3-2.2 地下 2 階の移動可能なデスク [2]

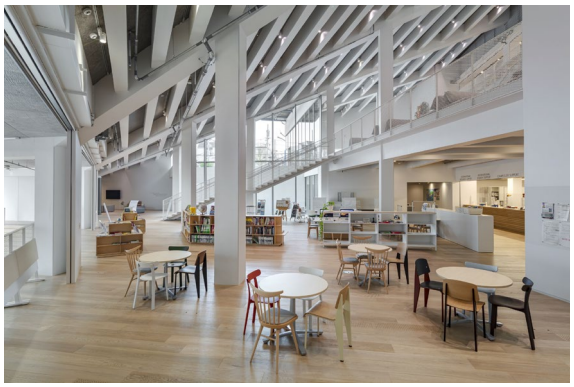

図 3-2.3 地下 1 階の 4 人席 [3]

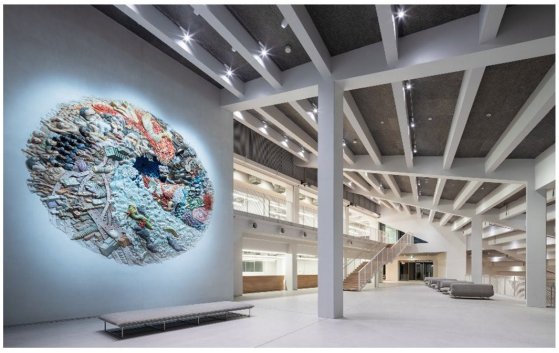

図 3-2.4 1 階のソファ [4]

[1] 東京工業大学 Hisao & Hiroko Taki Plaza(Taki Plaza)(TPG 主催)異文化を体験できる【Taki plaza Bar】: https://www.titech.ac.jp/student-support/students/facilities/takiplaza (最終閲覧 2023/3/26 20:00)

[2] Hisao & Hiroko Taki Plaza 地下 2 階: https://takiplaza.gakumu.titech.ac.jp/news/news-805/ (最終閲覧 2023/3/26 20:00)

[3] Hisao & Hiroko Taki Plaza 地下 1 階: https://takiplaza.gakumu.titech.ac.jp/news/news-814/ (最終閲覧 2023/3/26 20:00)

[4] Hisao & Hiroko Taki Plaza 1 階: https://takiplaza.gakumu.titech.ac.jp/news/news-822/ (最終閲覧 2023/3/26 20:00)

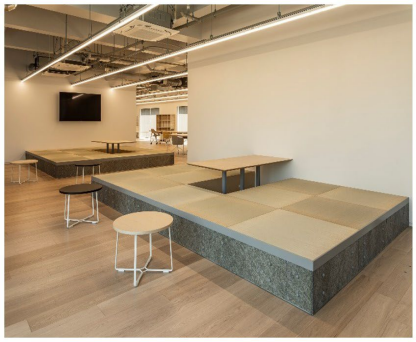

図 3-2.5　2 階の畳 [1]

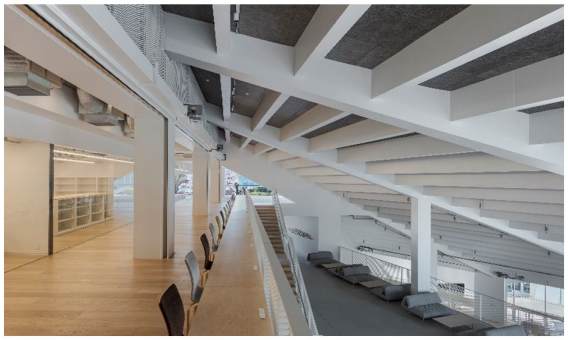

図 3-2.6　2 階のカウンター[1]

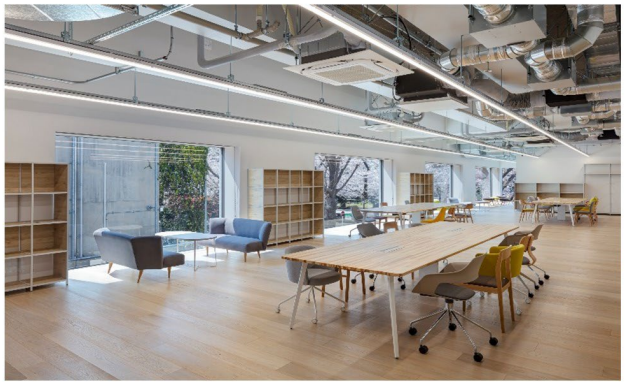

図 3-2.7　2 階の大机、ソファ [1]

現在、Taki Plaza は特に昼休みに混雑している状況です。飲食可能なスペースは地下 2 階全域と地下 1 階の 4 人席、1 階のソファ、2 階の長机と畳スペースとなっており、特に地下 2 階は大変混雑しています。また、地下 2 階の大部分のスペースが 4 人席に充てられています。そのため、1 人で利用するときでも 4 人席に座らざるを得なくなる場合があり、その結果として収容可能人数を下回ってしまうことがあります。混雑時には地下 2 階と地下 1 階をつなぐ部分の大階段(図 3-2.8)に座る学生もいますが、数人にとどまっています。

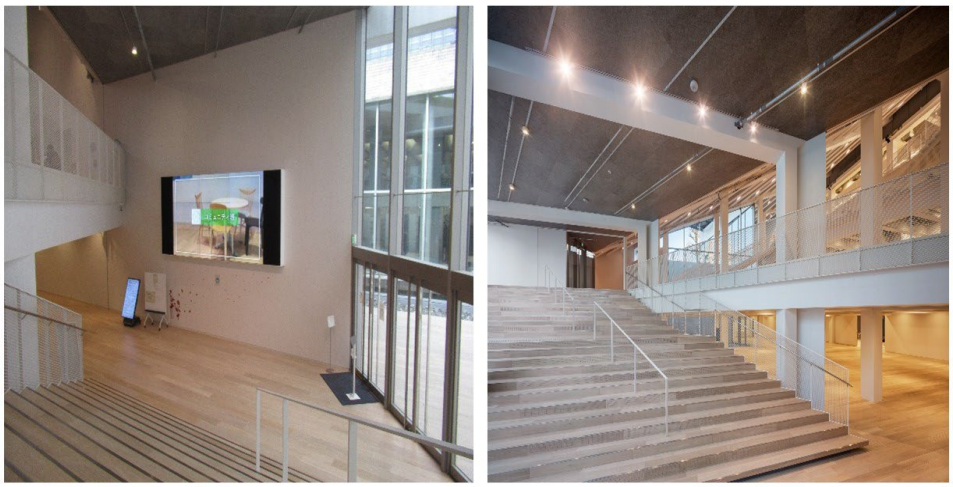

図 3-2.8　地下 2 階と地下 1 階をつなぐ部分の大階段 [1]

[1] Hisao & Hiroko Taki Plaza　2 階: https://takiplaza.gakumu.titech.ac.jp/news/news-826/ （最終閲覧 2023/3/26 20:00）

これらの現状を踏まえ、学生支援課支援企画グループとのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. フロアに机や椅子を増やすことは可能でしょうか。

A1. 要望、予算、感染リスクなどの影響次第では可能です。しかし現状スペースはないと思われます。

Q2. 学生から「一人席を増やしてほしい」という意見が寄せられているのですが、一人席を増やすことは可能でしょうか。

A2. 現在設置されている 4 人席などの机、席を減らせば設置することは可能ですが、Taki Plaza は学生の交流の場という趣旨で設置された建物なので、趣旨に合わないと思われます。

提言

以上を踏まえて、次のように提言いたします。

1. 地下 2 階と地下 1 階をつなぐ部分の大階段(図 3-2.8)に座ることが可能であることを周知する。また、大階段に座ることを促すため、誰でも自由に使える座布団などを階段前に用意する。

Taki Plaza の地下 2 階と地下 1 階をつなぐ部分の大階段(図 3-2.8)は座って利用することが可能ですが、現状学生内での周知が不十分であるように思われます。また、地面に座ることに抵抗のある学生もいると考えられるので、利用を促すと同時に座布団などを用意することで、そのような学生への利用も促すことができます。これにより、Taki Plaza 内の総座席数を増やすことができ、学生の交流の場という Taki Plaza の設置趣旨も満たすことができます。

2. 地下 2 階に大型の机(6～8 席)を設置する。

大型の机は、複数のグループで座ることが可能であり、また 1 人の方も抵抗なく利用することができると考えます。

3 施設

提言 3-3 生協食堂メニューの見直し

学生の意見

- 値段が高い。(同様意見約 260 件)
- 料理の質を上げて欲しい。(同様意見約 80 件)
- 量が少ない。(同様意見約 60 件)

現状分析

学勢調査 2022 の「平日の昼食は主にどこを利用していますか。」という設問(No.65)の回答は図 3-3.1 のようになり、生協食堂(第一・第二)は「大学周辺の飲食施設」に次いで 2 番目に多く、約 20%の学生が利用しています。

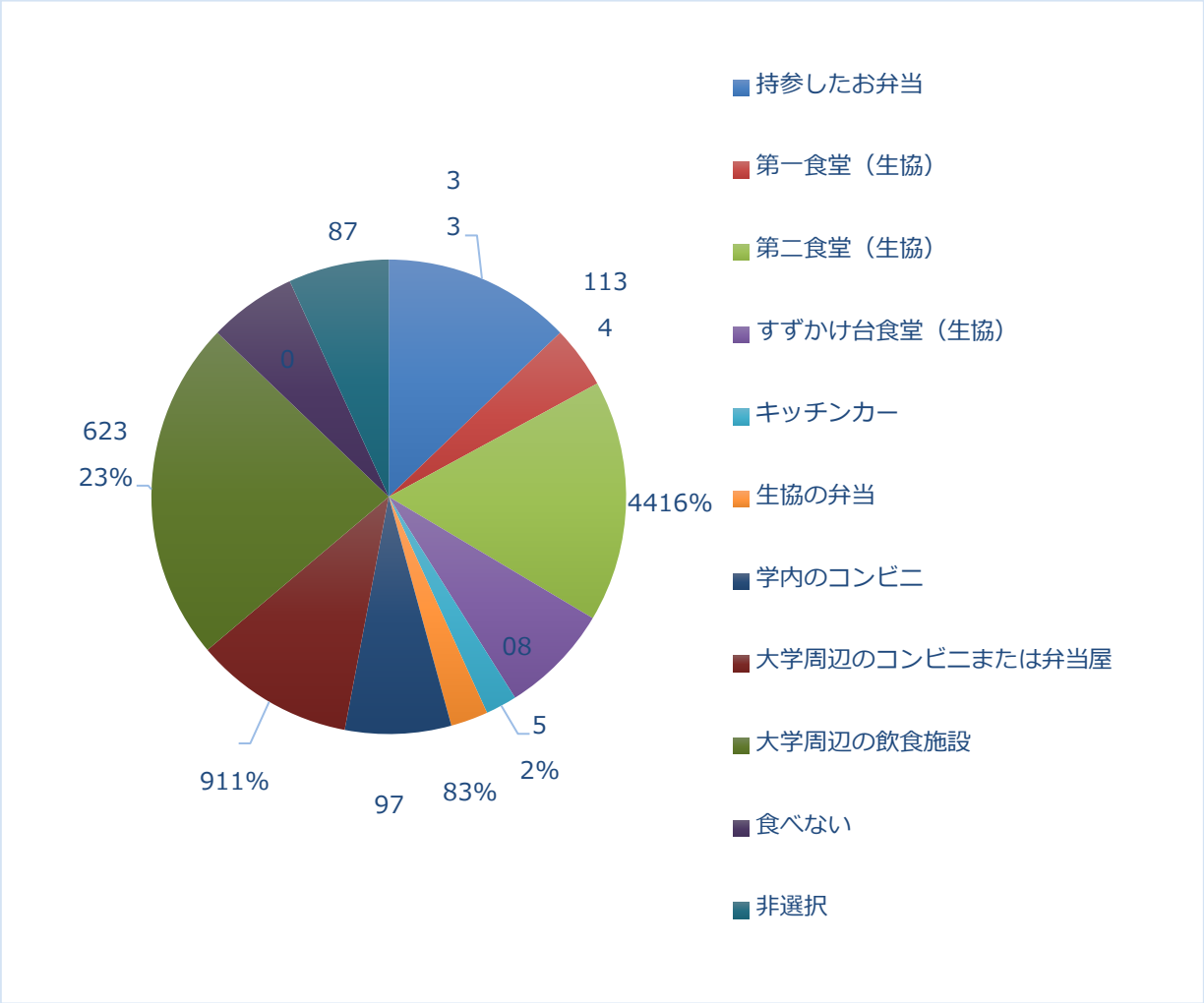

図 3-3.1 平日の昼食で主に利用する施設

一方、学勢調査 2022 の「生協食堂をどれくらいの頻度で利用しますか。」という設問に対する回答は図 3-3.2 のようになり、「利用しない」と答えた人が最も多く、「利用しない」または「あまり利用しない」と答えた人が約 65%を占めています。

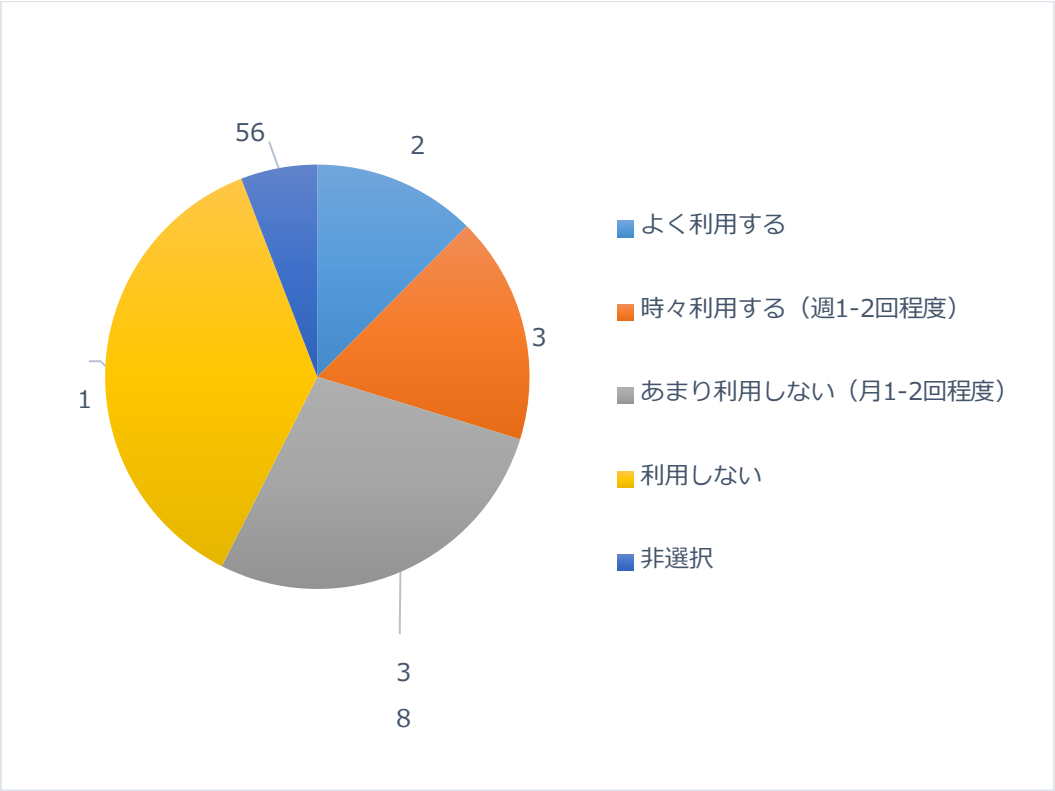

図 3.3-2 生協食堂を利用する頻度

生協食堂を利用しない理由について、学勢調査 2022 での「生協食堂を利用しない理由を教えて下さい。」という自由記述回答の設問に対しては、「価格が高い」もしくは「コスパが悪い」という意見が約 150 件、「あまり美味しくない」という意見が約 90 件、「量が少ない」という意見が約 40 件ありました。

また、学勢調査 2022 の「生協食堂について要望がある場合は記入して下さい。」という自由記述回答の設問でも、価格（約 260 件）、質や味（約 80 件）、量（約 60 件）の改善を求める声が多くありました。特に量については、丼ものの具材の量に対する要望も聞かれました（7 件）。

現状を踏まえ、東工大学生支援課生活支援グループ、大学生協とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. 夏頃に実施されているという生協食堂アンケートについて、実施期間や実施（告知）方法、おおよその参加人数について、またアンケートを受けて今までにどのような変更があったかを教えて下さい。

A1. 今年度（2022 年度）のアンケートは 2022 年 7 月 4 日から 21 日まで実施し、194 人の方から回答を頂きました。このアンケートは大学生協全体で取り組んでいるものです。回答の中では、価格や味、混雑状況への評価もありましたが、給茶機への要望が相当数ありました。現在、カレーの中盛りは税抜 280 円で提供しており、生協としては頑張っています。これ以上の値下げは経営的に無理です。昼休みの時間が決まっており多くの学生さんが利用されるため、時には 40 分に 400 人もいらっしゃいます。短時間で沢山の学生さんが次の授業に間に合うようにしなければならず、そのためにはある程度の人件費が必要になります。東工大特有の傾向としては、学生さんからの要望では、価格と同じくらい健康面や栄養バランス、野菜についての意見が多いです。アンケートを受けて小鉢系の商品を増やしました。

Q2. 学勢調査に寄せられた意見の中で、丼ものを大盛りにした時にご飯だけでなく具も大盛りにしてほしいという意見も多数あったのですが、これは可能でしょうか？

A2. 商品によって変わってきます。例えば竜田丼などは具の大きさが決まっているため、具を大盛りにすることはできません。東工大パワー丼は、現状大盛りにすると具も増えています。

提言

以上を踏まえまして、次のことを提言いたします。

1. 生協食堂のメニューに、量に対するコスパ重視の東工大オリジナルメニューを追加する
2. 丼ものの具材を大きくする
3. アンケートをこまめに実施したり意見箱を設置したりすることで、学生の意見を細かく反映する（特定のメニューに対して等）

オリジナルメニューの選定の際には、アンケートにより学生から意見を募ることを提案いたします。そのアンケートの実施・集計に学生が参加することも検討しております。

丼もの具材を大きくすることに関しましては、値上げがやむを得ない場合、その分具材が大きくなったと感じられることが必要だと考えております。

特に 1 つ目につきまして、コロナ禍や物価高騰などの社会情勢により生協側の経営状況も厳しいかとは思いますが、学生の生活支援のため、是非ともご検討頂きますよう、よろしくお願いいたします。

提言 3-4 体育館アリーナにおける冷房の設置

学生の意見

- 体育館アリーナに空調をつけて欲しい。（同様意見 20 件）

現状分析

大岡山キャンパスにある体育館のアリーナには、現在空調設備がありません。そのため、特に夏場などにはアリーナ内の気温が非常に高くなり、館内で活動を行う上で熱中症など体調不良者が出ることが懸念されています。このような状況を受けて、学勢調査には、過去の調査から継続して「体育館アリーナに空調設備が欲しい」との意見が寄せられています。

体育館に導入可能な空調設備は、大きく以下の三つに分けられます。

- エアハンドリングユニット
- 汎用パッケージエアコン(ガス式：GHP、電気式：EHP)
- スポットエアコン

エアハンドリングユニットは、オーダーメイドが基本の大規模な設備であり、高性能であるものの非常に高価なシステムのため、アリーナへの導入は費用対効果に優れないと思われます。そのため、現実的であると思われるのは汎用パッケージエアコンおよびスポットエアコンとなります。

汎用パッケージエアコンは、基本的に既製品であり、エアハンドリングユニットと比較すれば安価な価格で導入が可能です。床に置くタイプや天井に設置するタイプ、室外機の形式などでさまざまな種類があります。

一方のスポットエアコンは、局所的に冷風を送る空調設備です。そのため一般的なスポットエアコンは、体育館のような広い空間を冷やすのに最適ではありませんが、人がいるところに対し冷風を送ることで熱中症を予防する効果が期待されます。また、体育館のような大きな空間を冷やすことを重視したスポットバズーカ[1](図 3-4.1)のようなスポットエアコンは、より効果的に体育館における空調としての機能を果たすことが可能です。スポットエアコンタイプは汎用パッケージエアコンよりもさらにコストを抑えて導入できる点もメリットの一つです。

図 3-4.1 スポットエアコンの例（スポットバズーカ）

[1] イーズ スポットエアコン URL https://esinc.co.jp/goods/spot-school-2/（最終閲覧 2023/03/22）

3 施設関連

以上の現状を踏まえ、学生支援課生活支援グループとのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. 現在、体育館アリーナにおいて利用できる空調設備等はあるのでしょうか。またそれらの利用状況はいかがでしょうか

A1. 体育館アリーナ以外には空調があります。アリーナには大型の扇風機が存在し、サークル活動などで利用しています。扇風機などは要望を聞いて買い替えや買い足しなどを行っています。

Q2. 体育館アリーナに空調設備を設置する際にハードルとなる要素はどのようなものがあるのでしょうか。

A2. これまでも検討してはいますが、古い建物なので効率よく空調を設置するのは難しいです。屋根に当たる直射日光が効率を落とすという問題もあります。また、施設整備課にも検討してもらっていますが予算の問題も大きいです。式典などでも使いますので、空調の需要はあると認識していますが、費用対効果が優れないという状態です。

提言

以上を踏まえて、体育館アリーナにおける冷房の設置について以下のように提言します。

1.体育館アリーナへのスポットエアコンの導入

コストを考慮して、比較的コストの小さいスポットエアコンの導入を提言します。一般的なスポットエアコンは体育館のような広い空間では効果が少ないとされることもありますが、現状分析で述べたような体育館向けのスポットバズーカのようなスポットエアコンであれば、コストを抑えた上で、暑さ対策として非常に有効であると思われます。また、費用対効果に懸念があるようであれば、まずはリース方式などの方法も検討することで、より費用を抑えた導入が可能であると考えます。

提言 3-5 キャンパス内屋外エリアへのゴミ箱の設置

学生の意見

- キャンパス内にゴミを捨てられる場所を増やして欲しい。(同様意見 20 件)
- 附属図書館にゴミ箱を設置して欲しい。(同様意見 40 件)

現状分析

現在、東京工業大学の大岡山キャンパスでは、講義室や Taki Plaza にはゴミ箱の設置があるものの、屋外にはほとんどゴミ箱が設置されていません。この現状に対して、2016 年の学勢調査以降、「ゴミを捨てる場所が少ない」「ゴミ箱を増やして欲しい」という意見が継続して多くの学生から寄せられています。

キャンパス内の屋外エリアにゴミ箱が設置されていないということは、他大学と比較しても稀なケースです。実際、東京大学、一橋大学、慶應義塾大学などのキャンパスには屋外エリアにゴミ箱が設置されています。このことを踏まえると、東工大において屋外にゴミ箱を設置することは不可能ではないと思われます。

ただし、下記の安全企画課とのキャンパスミーティングでの回答 A1.にもあるとおり、運用の面で問題となる点が存在していることも事実です。しかし、それらの問題については、ゴミ箱の撤去という形ではなく、運用方法の変更等によって対応することで、学生のキャンパス利用の利便性を維持していくことが可能であると考えます。例えば、回答 A1.ではカラスによるゴミ荒らし、不審物の問題、ゴミ捨てのルールが守られない、などの問題が挙げられていますが、これらは蓋付きのゴミ箱の導入、中身の見えるゴミ箱(図 3-5.1)の導入や、ゴミ捨てルールを明確化して周知する等の方法で、ある程度の効果が見込めると考えます。

このような対応をとり屋外にゴミ箱を設置することは、利便性の向上だけでなくゴミのポイ捨ての防止も期待でき、またキッチンカーなどのキャンパス内サービスの利用促進にもつながると考えます。

図 3-5.1 中身の見えるゴミ箱 [1]

以上を踏まえて、安全企画課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. 大学構内の屋外におけるゴミ箱の数が少ないと思われますが、理由などはございますか。

A1. 平成 28,29 年に屋外のゴミ箱について大学内のある会議で議論がありました。カラスによるゴミ荒らし、不審物の問題、ゴミ捨てのルールが守られない、社会のゴミ箱撤去の流れなど様々な点についての議論がなされ、3,4 ヶ月の試行期間を設け、問題がないことを確認した上で、ゴミ箱を徐々に削減したという経緯があります。

[1] 株式会社シロ産業 ステンレス分別ゴミ箱(中身確認透明扉) URL: https://www.webshiro.com/syouhinsetumei9/M458S-271LSA.html (最終確認 2023/03/22)

3 施設関連

Q2. 大学構内におけるゴミ箱の増設に関して、現在行われている/検討されている対策などはありますでしょうか。

A2. 今のところ検討はしていません。ゴミを捨てる際は講義室のゴミ箱を利用していただきたいと考えています。

提言

以上を踏まえまして、以下のように提言いたします。

1.キャンパス内屋外エリアへの容量の大きいゴミ箱の設置

キャンパス内の屋外エリアにゴミ箱を再設置することで、利便性の向上、ポイ捨ての防止などが期待できます。また容量の大きいゴミ箱を設置することによって、ゴミが溢れ出すなどの問題に対応することが可能であると思われます。また、場合によって中身の見えるゴミ箱や防鳥のゴミ箱を導入することで、防犯や動物によるゴミの荒らしに対応可能だと考えます。